

議事概要

会議名	第6回鳥羽駅周辺エリア再生ビジョン検討部会				
日時/場所	2025年5月26日(月) 13:30~15:30 / 鳥羽市役所西庁舎3階 中会議室 (WEB 併用)				
出欠 (敬称略)	構成員	■谷口優太 □江崎貴久 ■寺田貴晃 ■小林克彰	■濱口輝満 ■中村文哉 ■西根さつき ■齋藤猛 ■中村由加利 ■多賀真柄 □内山瑛祐 ■朝原宏樹 ■佐藤達夫 ■犬塚紀和	■吉川好信 ■松田昭太郎 ■松川亮 ■重見昌利 ■浜崎政孝 ■木下大輔 ■豊田祥三 ■坂井綾子	□世古素大
■出席 (対面)	鳥羽市企画財政課 (TB)				
◆出席 (web)	鳥羽市生涯学習課 (TBS)				
□欠席	UR リンケージ (URL)	■三宅博文	■藤田真穂	◆三宅エリザベス	◆増橋佳菜
*代理者出席 ()内は代理出席者	UR 都市機構 (UR)	□竹内豪			
	REVIC (R)				
	日建設計 (NS)				

概要

■ 要望・提案

佐田浜の将来像について

- ・特に防災については、客観的かつ定量的な目標を設定する必要があるのではないか。
- ・佐田浜における災害時の避難行動を想定すると、混乱を避けるために分かりやすい避難動線の整備と十分な滞留空間が必要である。
- ・伊勢方面からの来訪者に対しても海への眺望を確保するような動線設定が良い。
- ・佐田浜に全天候型の滞留空間があると市民も観光客も日常的に過ごせるのではないかと。
- ・異なる交通モード間の乗換時間や待ち時間を有効に使える空間整備と機能配置が必要である。
- ・JR 鳥羽駅側の現タクシープールの敷地は、中心市街地との連携を見据えて利活用すると良いのではないかと。
- ・時間帯によって各地区の使われ方の違いを整理すると良い。
- ・生活者の目線が弱いと感じるので、地元住民が一日楽しめる場所づくりもなされること分かるような表現として欲しい。

城山公園の将来像について

- ・旧鳥羽小学校特に防災については、客観的かつ定量的な目標を設定する必要があるのではないか。
- ・グラウンド跡がヘリポート発着場に指定されていることは、防災のみならず観光の観点とも結びつけて本エリアの特色の1つに位置づけられるのではないかと。
- ・空間を綺麗に整備しただけでは利用者は増えないと思う。動線整備における城山公園の位置づけを明確にする必要がある。
- ・城山公園周辺は利活用も重要だが、動線づくりが重要である。
- ・周辺の交通結節点と連携して、まちあるきの途中に寄り道する場所になったらよい。
- ・城山は管理されていない樹木が増加している。
- ・城山から見る夕日は美しく、宵の時間を過ごす場所としての素地がある。

■ 質問

- ・佐田浜における津波浸水想定深規模は十分なのか。
→ 理論上起こり得る最大クラスを想定している。
- ・佐田浜では1階または2階レベルまでが浸水深に含まれるが、低層部の機能配置方針を教えてください。
→ 防災上の安全性および賑わい創出の可能な限りの両立を見据え、今後の計画の具体化に伴ってハード・ソフトの両観点から慎重に継続議論していく。
- ・佐田浜に交通結節機能を集約する場合、どの交通モードを集約するのか。
→ 今後、量的な検討段階で検討したい。ただし、バス乗り場の分かりにくさの改善とバス待ち空間の高付加価値化は必須と考えている。
- ・旧鳥羽小学校の利活用における制限等の前提条件を教えてください。
→ H27 保存活用計画の他、史跡指定範囲内は史跡に無関係な掘削を伴う建設工事が禁止されている。